

平成21年度地球環境基金プロジェクト  
「マルチステークホルダーによる北陸におけるE S D普及のための仕組みづくり」  
について

「持続可能な開発のための教育の10年」が2005年1月から開始され、国や自治体、NGO等を中心に、持続可能な開発のための教育（E S D）の推進活動が全国的に進められている。E S Dの周知普及は、わが国の実施計画の中でも初期段階の重点事項として特に強調されているが、北陸3県でのE S Dの認知度は未だ低い状況にある。このため、大学コンソーシアム石川では、平成20年度に地球環境基金の助成を得て、「学校教師を中心とした北陸地域のE S Dの普及のための仕組みづくり」事業を実施し、関係者の協力と支援により、多大な成果をあげることができた。

平成20年度の成果を踏まえ、大学コンソーシアム石川は、さらに北陸地域におけるE S Dの普及を促進するため、引き続き地球環境基金の助成を得て、平成21年度から「マルチステークホルダーによる北陸におけるE S D普及のための仕組みづくり」事業を継続することとし、交付決定を受けたところである。

本事業では、活動地域を、大学コンソーシアム石川が所在する石川県のみでなく、富山県、福井県に拡大するとともに、公民館等の社会教育分野での活動と連携し、より広く市民全体に対してE S Dの周知普及を図るとともに、それらのE S D活動を支援するため、北陸3県の大学、国際機関、自治体、企業、NPO／NGO等によるE S D支援のためのマルチステークホルダー・コンソーシアムの形成を目指した。

本報告書は、平成21年度の活動結果の概要をまとめるとともに、それぞれの地域で行われたE S D講座、E S Dシンポジウム等で用いられた資料を取りまとめたものである。本報告書が、今後の北陸におけるE S D活動の推進に資することを願うものである。

大学コンソーシアム石川E S D推進連絡協議会  
鈴木 克徳（金沢大学特任教授）

# 目 次

## 巻頭言

I. 平成21年度地球環境基金プロジェクト「マルチステークホルダーによる北陸におけるESD普及のための仕組みづくり」事業結果概要	1頁
II. 富山セッション	
1. ESD講座	
(1) 第1回ESD講座	
プログラム	7頁
講演：ESD入門 金沢大学特任教授 鈴木克徳	8頁
講演：子どもが生き生きと学ぶ授業の創造—地域学の開発— 国立教育政策研究所 総括研究官 五島政一	
・これからの環境教育をどのように展開するか—新学習指導用利用を踏まえて 実践するために	14頁
・子どもが生き生きと学ぶ授業の創造 地域の教材化（環境教育）	15頁
・総合的な理科教育 地球環境教育アースシステム教育	21頁
資料1 環境教育やESDに関連した参考資料	26頁
2 身近な自然を活用する環境教育、地域の教材化（地域学）の教育的意義と どんな能力の育成になるかについて	35頁
3 地域学を通じた環境教育・ESD —学校と博物館の連携による教育の創造、地域を利用した学習 「みうら学」の創造	37頁
4 Think globally Act locally な環境教育の基盤となる一つの理念 アースシステム教育	45頁
5 副読本	50頁
6 アースシステム教育現職教育研修プログラム 「みうら学」の開発	64頁
7 みうら学実践事例「検地があった、三浦市にも」	74頁
(2) 第2回ESD講座	
ESD 公開授業資料	83頁
全体研修会	
ESD入門 金沢大学特任教授 鈴木克徳	110頁
2. ESD富山シンポジウム	
プログラム	115頁
基調講演：持続可能な日本と世界づくり：現状と課題 成蹊大学名誉教授 廣野良吉	117頁
パネルディスカッション	
① 悠久の森から学ぶ：ファミリーパーク園長 山本茂行	128頁
② 学校での授業から：富山大学教授 松本謙一	131頁
資料 平成20年度くれば悠久の森事業報告	133頁
平成19年度悠久の森事業報告書	141頁
2008年度ファミリーパーク事業実績	147頁
2007年度ファミリーパーク事業実績	156頁

### Ⅲ. 石川セッション

#### 1. ESD講座

##### (1) 第1回ESD講座

プログラム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・167頁

講演：持続可能な社会の構築のための教員養成・研修プログラムと教材開発

国立教育政策研究所 総括研究官 五島政一

(資料は富山セッション第1回ESD講座を参照)

事例発表：金沢市立小学校における環境教育の取り組み状況

金沢市立材木町小学校長 大浦博幸・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・168頁

##### (2) 第2回ESD講座

プログラム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・175頁

事例発表

###### ① 総合的学習のカリキュラムづくり

金沢市立田上小学校長 福久俊彦・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・176頁

###### ② 学校とNGOが共有できるプログラム試案

金沢エコライフくらぶ 青海万里子・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・180頁

###### ③ 環境人材の育成について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・184頁

###### ④ 知的障害養護学校における、諸団体とコラボした「環境学習」の実践事例

石川県立明和養護学校 教諭 池田陽一・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・185頁

###### ⑤ 仙台市における環境教育・ESDでの学校とNGO・企業との連携促進策

金沢大学特任教授 鈴木克徳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・189頁

#### 2. ESD石川シンポジウム

プログラム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・191頁

基調講演1：内灘町におけるESD～町を挙げての持続可能な社会づくり～(レジュメ)

内灘町長 八十出泰成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・193頁

資料1 内灘町における環境施策について(平成20年度)・・・・194頁

2 新聞記事「河北潟浄化へ実験池づくり」・・・・・・・・・・・・195頁

3 内灘砂丘復元竹垣づくりについて・・・・・・・・・・・・196頁

4 平成20年度鶴ヶ丘小学校エコ活動推進計画・・・・・・・・・・・・198頁

5 河北潟プロジェクト発表・・・・・・・・・・・・203頁

6 新聞記事「エコ活動の成果認定」・・・・・・・・・・・・204頁

7 平成20年度夢教室推進事業一覧・・・・・・・・・・・・205頁

8 町民フォーラム10年の歩み・・・・・・・・・・・・206頁

基調講演2：尾瀬から考える明日～尾瀬国立公園における自然保護活動～

東京電力(株)尾瀬保護活動担当 竹内純子・・・・・・・・・・・・213頁

パネルディスカッション

DESDをめぐる国際的動向と国連大学の取り組み

国際連合大学高等研究所ESDスペシャリスト 望月要子・・・・・・・・・・・・218頁

### Ⅳ. 福井セッション

#### ESD講座

##### (1) 第1回ESD講座

講演：持続発展教育(ESD)について

金沢大学特任教授 鈴木克徳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・223頁

I. 平成21年度地球環境基金プロジェクト  
「マルチステークホルダーによる北陸における  
ESD普及のための仕組みづくり」事業  
結果概要

平成21年度地球環境基金「マルチステークホルダーによる  
北陸におけるESD普及のための仕組みづくり」事業  
平成21年度事業の進捗状況について

1. 背景

「持続可能な開発のための教育の10年」が2005年1月から開始され、国や自治体、NGO等を中心に、持続可能な開発のための教育（ESD）の推進活動が全国的に進められている。ESDの周知普及は、わが国の実施計画の中でも初期段階の重点事項として特に強調されているが、北陸3県でのESDの認知度は未だ低い状況にある。このため、大学コンソーシアム石川では、平成20年度に地球環境基金の助成を得て、「学校教師を中心とした北陸地域のESDの普及のための仕組みづくり」事業を実施し、関係者の協力と支援により、多大な成果をあげることができた。

大学コンソーシアム石川では、平成20年度の成果を踏まえ、さらに北陸地域におけるESDの普及を促進するため、引き続き地球環境基金の助成を得て、平成21年度から「マルチステークホルダーによる北陸におけるESD普及のための仕組みづくり」事業を継続することとし、平成21年5月28日に最終交付申請書を提出し、7月2日に交付決定を受けたところである。

本事業では、活動地域を、大学コンソーシアム石川が所在する石川県のみでなく、富山県、福井県に拡大するとともに、公民館等の社会教育分野での活動と連携し、より広く市民全体に対してESDの周知普及を図るとともに、それらのESD活動を支援するため、北陸3県の大学、国際機関、自治体、企業、NPO/NGO等によるESD支援のためのマルチステークホルダー・コンソーシアムの形成を目指す。本年度の重点課題は以下のとおりである。

- ① 地域的には、福井県における推進体制の整備・充実
- ② 高校レベルにおけるESD・ユネスコ・スクールの推進
- ③ 学校とNPO/NGO、学校と企業等様々なステークホルダー間の連携促進に向けた対話の場の設定

2. 平成21年度の事業計画

北陸3県の関係自治体、NPO/NGO、ユネスコ協会、北陸経済連合会等との連携・協力の下で以下の活動を行う。

- ① 関係地域の大学、教育委員会等との連携による「学校教師を中心とするESD講座」の開催（石川県、富山県、福井県で各2回/年）
- ② 教育委員会や学校との連携による、「初等中等教育でのESDモデルプロジェクト」の実施（石川県、富山県、福井県で各1～2校）とユネスコ・スクールへの参加促進
- ③ 関係地域の大学、教育委員会等との連携による「市民にESDを周知するためのESDシンポジウム」の開催（石川県、富山県、福井県で各1回/年）
- ④ 教育委員会主催の講習会・研修会、学校教師による既存の教科別研修会等でのESD関連講義の実施推進に向けた講師派遣等の支援

- ⑤ 自治体が行う社会教育施設における「ESD推進のための公民館・児童館職員向け講習会」等への講師派遣等の支援・協力
- ⑥ 上記活動の企画推進のための、北陸3県のマルチステークホルダーによるESD推進連絡協議会の開催
- ⑦ 平成20年度の講演等を取りまとめた資料集の作成等

### 3. 事業結果

#### (1) 学校教師を中心とするESD講座

石川県：第1回 8月9日 大学コンソーシアム石川 シティカレッジ教室1

- ・「持続可能な社会の構築のための教員養成・研修プログラムと教材開発」について国立教育政策研究所五島政一総括研究官による講演を行うとともに、「金沢市における持続可能な社会づくり教育の現状と課題」について金沢市立材木町小学校大浦博幸校長から発表し、討議。参加者17名。

第2回 11月8日 大学コンソーシアム石川 シティカレッジ教室1

- ・「学校におけるカリキュラム作成の手順」について金沢市立田上小学校福久俊彦校長から、「NPO/NGOによる学校との協働に向けた取組み」について青海万里子氏から、「学校・企業・NPO・行政の連携によるESD推進」について石川県環境部新広昭参事、石川県立明和養護学校池田陽一教諭から発表した後、討議。参加者18名。

富山県：第1回 8月8日 サンシップ富山（生活・総合学会富山支部と共催）

- ・「ESD入門」について金沢大学鈴木克徳特任教授が、「子供がいきいきと学ぶ授業の創造～地域学の開発」について国立教育政策研究所五島政一総括研究官が講演するとともに、「富山におけるESDの展開」についてパネル・ディスカッションを実施。約80名が参加。

第2回 10月10日 富山市立中央小学校（公開授業と併せて開催）

- ・ESDに関する公開授業を行うとともに、金沢大学鈴木克徳特任教授、富山大学松本謙一教授による全体研修会を開催。公開授業に約150名、全体研修会に約120名が参加。

福井県：第1回 11月25日 福井県敦賀市民文化センター（福井県小中学校校長会幹事会と併せて開催）

- ・金沢大学鈴木克徳特任教授が「ESDとユネスコスクール」について講演。福井県小中学校校長会幹事約20名が参加。

#### (2) 初等中等教育でのESDモデルプロジェクト

平成21年度は以下の3校について実施

石川県：大聖寺高校

##### (1) エコスクール化運動

- ・節電（晴天時は教室の窓際一列消灯、昼休み一斉消灯など）
- ・節水（全ての蛇口に節水コマを装着、擬音発生装置によりトイレで節水など）
- ・3Rの推進（ゴミは17分別、校内の飲物自販機はデポジット方式、マイ箸の携行等）
- ・紙使用量の削減（両面印刷、裏紙利用、再使用が可能なコピー機の導入、リユース封筒など）

- ・グリーン購入の推進（再生紙製品や再生プラスチック製品を購入するよう指導）
  - ・エコ意識の向上（週2回昼休みにエコ放送、毎月クラス別エコチェック実施、各クラスや課・教科・部などで環境目標を設定し評価、掲示板で毎月の環境データを公開など）
  - ・校舎の壁面緑化（暖冷房に使用する燃料の削減を目指す）
- (2) 山林ボランティア「故郷の山を守る活動」
- ・年3回（7, 7, 10月に実施）
  - ・加賀市三谷地区で森林保全活動（下草刈り、間伐、枝打ち、植林、登山道整備等）
- (3) 研修活動
- ・年間を通じて、様々な研修を行う。

富山県：寒江小学校

目標：体験的な学習活動を通して子どもたちが対象に積極的に関わり、主体的に課題解決に取り組むようにすることで、自分の生活を振り返ったり地域の人々への思いを深めたりする。

活動

- ・3年：寒江ひとじまん～マイヒーローをしょうかいします（まち）
- ・4年：心と心をつなげよう～めざせ!心のバリアフリー（福祉）
- ・5年：食環境が支える私たちの暮らし～食の提案書を作ろう（環境）

福井県：福井市鷹巣幼小中学校

- (1) 環境にやさしい学校（福井市学校版環境ISO）活動
- ・学校での日常的な環境保全活動（節水、節電等）
  - ・地域での環境保全活動（浜清掃、中学校区海岸一斉清掃等）
- (2) 発達段階に応じた取り組み
- ・幼稚園、小1・2年、特別支援学級：花と野菜づくり、緑のカーテン事業
  - ・小3・4年：地域のお年寄りとの交流（福祉）
  - ・小5・6年：稲作体験と鷹巣ハッピー・ピース・フレンズ活動
  - ・中1年：鷹巣海岸レポリビューション
  - ・中2年：私たちのまち鷹巣をPRしよう
- (3) PTAや地域と連携した取り組み

### (3) 市民にESDを周知するためのESDシンポジウム

石川県：12月12日に金沢エクセルホテル東急で「皆が安心して安全に暮らせる地球環境に向けて」国連大学高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニットと共催

- ・「内灘町におけるESD～町を挙げての持続可能な社会づくり～」について八十出泰成内灘町長が、「尾瀬から考える明日」について東京電力（株）竹内純子氏が講演するとともに、パネル・ディスカッションを実施。参加者122名。

富山県：平成22年1月30日にファミリーパークで「里山から持続可能な社会づくりを考える」富山ESD講座委員会と共催

- ・「持続可能な社会づくりに向けた世界と日本の動き」について成蹊大学名誉教授廣野良吉氏が講演するとともに、「悠久の森から学ぶ～里山の保全と里山を子孫に残していく方策～」についてパネル・ディスカッションを実施。参加者約130名

福井県:平成22年2月20日又は21日に福井ユネスコ協会と共催で福井市で開催する方向で調整したが、先方の都合がつかず延期。

(4) 教育委員会主催の講習会・研修会、学校教師による既存の教科別研修会等でのESD関連講義の実施推進に向けた講師派遣等の支援

① 教育委員会等主催の講習会・研修会等の支援

- ・金沢市教育委員会によるESD講習(8月17日):全小中学校対象
- ・文部科学省等主催ユネスコスクール研修会 in 富山(10月27日、富山市):約150名参加
- ・金沢市ユネスコスクール研修会(11月30日、富樫研修センター):金沢市の全ユネスコスクール参加

② 学校教師による教科別研修会等でのESD研修

- ・ESD研鑽会(富山での学校教師による勉強会)でのESD的側面の検討への講師派遣  
平成21年8月10日、9月15日、10月28日、11月26日、平成22年1月14日の5回開催。  
正式にESD研鑽会として成立する前に6月30日にも同様の会合を開催
- ・ESD石川t設立及び運営に向けた情報提供等の支援  
幼小中高大の教員によるESD関連の情報、意見、経験の交流の場として2月17日に正式に設立されたESD石川t準備会合に対する情報提供等の支援活動を行っている。

(5) ESD推進のための公民館・児童館職員向け講習会等への講師派遣等  
図書館

- ・石川県立図書館での司書への講演会(6月30日)
- ・環境文学を通じたESD理解促進(9月6日)

公民館・児童館等

- ・弥生公民館での講演(6月9日)
- ・いしかわ子ども交流センターによる「緑の教室」(7月18日、19日)

(6) 北陸3県のマルチステークホルダーによるESD推進連絡協議会

① 全体会合

- ・第1回:7月22日:平成21年度事業計画検討
- ・第2回:9月28日:平成21年度事業計画決定
- ・第3回:平成22年1月14日:平成21年度事業の進捗状況報告、平成22年度計画(案)検討
- ・第4回:2月26日:平成21年度事業結果の報告

② その他に石川セッション、富山セッション、福井セッションを適宜開催

- ・石川セッション:4月27日に本年度の事業の進め方について検討
- ・富山セッション:5月9日に本年度の事業の進め方について検討
- ・福井セッション:8月18日に古田委員とともに福井県教育委員会、福井市教育委員会、福井ユネスコ協会を訪問し、本事業への協力を要請

③ 学校関係者と関係NPO/NGO、企業等との情報・意見交換会の開催支援

- ・6月5日:北陸環境共生会議主催企業向けESDセミナー(ANAクラウンプラザ金沢)に参加、貢献



- ・ 8月23日：石川県環境フェアにおける学校関係者・NPO／NGO、企業関係者の対話セッション：（石川県産業展示館3号館）に参加。

## (7) その他

- ① 平成20年度の講演等を取りまとめた資料集の作成等
  - ・ 北陸地域におけるESD実践資料集
  - ・ 平成20年度地球環境基金事業ホームページ（大学コンソーシアム石川）

（参考）地球環境基金事業以外で行われているESD関連事業

### (1) 戦略的大学連携支援事業

- ・ 平成20年度から石川県内の20の高等教育機関の連携促進を目的として開始。
- ・ 平成21年度事業として、各大学が共通に使えるようなESD教材、カリキュラム等のモジュールを作成。現在各大学のニーズ調査を経て①ESDに取り組む必要性、②廃棄物と3Rに関する教材を作成中。

### (2) 日本ユネスコパートナーシップ事業

- ・ ユネスコ・スクール支援大学間ネットワーク事業の一環として金沢大学が実施。
- ・ とりあえず単年度事業であるが2～3年間の継続を期待。
- ・ 平成21年度は以下の事業を実施

- ① ユネスコ・スクールにおけるESDへの取り組み（ESDの導入プロセス、カリキュラム内容の変更点とその根拠、学内検討体制等）の文書化を北陸地域の以下の3校で実施。
  - ・ 富山市中央小学校
  - ・ 金沢市材木町小学校
  - ・ 金沢市立田上小学校
- ② 平成22年1月31日に「ESDセミナーin金沢（事例発表会）」を金沢で実施。参加者約30名。大学コンソーシアム石川は協賛。
- ③ 北陸地域の学校教師等のESD関連会議、先進地域視察等への派遣
- ④ ユネスコ・スクールに対する資金支援事業（北陸地域7校を含む8校に対して各20万円を提供）

### (3) 北陸における里山保全等による生物多様性保全に関するワークショップ

- ・ 平成22年2月7日に金沢で金沢大学、いしかわ自然体験支援隊、「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議（ESD-J）主催で開催。里山と生物多様性保全に関する以下の3つの活動のケーススタディ結果を発表し、北陸における今後の生物多様性・里山保全の在り方について討議。
- ・ SEP聖高エコプロジェクト  
石川県立大聖寺高校教諭 三津野真澄氏
- ・ 「能登里山マイスター」養成プログラム：里山資源を活かす地域再生リーダーの育成  
金沢大学地域連携推進センター 小路晋作氏

- ・地域社会と学校と、動物園をつなぐ「くれは悠久の森」事業  
富山市ファミリーパーク園長 山本茂行氏

(4) 北陸のユネスコ協会との連携：ESD セミナーの開催

石川：平成21年6月13日 第47回ユネスコ・フォーラム

富山：平成21年10月27日 ユネスコ・スクール研修会 in 富山

福井：平成21年8月18日 ESD講演会

(5) その他

平成21年8月29日（横浜）日本ユネスコ協会連盟主催中部東ブロック研究大会で、「持続可能な開発の課題」について金沢大学特任教授鈴木克徳が基調講演